【教育の視点】脳科学実験が証明した「AI 活用の黄金順序」：先思考・後 AI が育む真の英語力

キッズブラウン・パートナー教室 オーナー様、先生方各位

いつも大変お世話になっております。KidsBrown Japan 編集部です。

生成 AI の普及に伴い、「AI をいかに教育に取り入れるか」が議論されていますが、最近の脳科学および教育学の研究で、「AI を使う“タイミング”が学習の成否を分ける」という衝撃的な実験結果が発表されました。

今週は、この実験が提示する「AI 活用のヒント」と、私たちが大切にしている「ストーリーベースの直読直解」がなぜ AI 時代に最強の武器になるのかについて考察します。

1. 脳科学実験が明かした衝撃の事実：「AI 依存」の罠

実験では、学生を 2 つのグループに分け、課題（エッセイ・分析）を行わせた後、条件を入れ替えるクロスオーバー設計で脳活動（fMRI 等）と記憶・学習定着度を測定しました。

- **1 グループ（最初から AI を活用）：** 一見、提出物の出来栄えは良好でした。しかし、脳波を測定したところ、自力で文章を書いたグループに比べて**脳の部位間情報伝達強度が最大 55%も低下**していました。さらに、自分が提出したばかりの文章や概念を正確に記憶できておらず、脳が「非活性状態」に陥っていたことが判明しました。
- **2 グループ（まず自力で思考 → 後から AI を活用）：** 1 次段階で辞書や公式文書を使い、自らの頭で論理を構成したグループは、2 次段階で AI を取り上げられた（あるいは与えられた）際にも、高い注意力と記憶力、優れた学習成就度（成績）を維持・発揮しました。一方で、最初から AI に頼っていた 1 グループは、AI を取り上げられた途端に成績が急落しました。

この実験は、「最初から AI を使うと脳が思考を停止し、学習効果が蒸発する」という明確な警告を鳴らしています。

2. 教育的示唆：「先思考・後 AI」の実践とアシスタントとしての活用法

この実験が私たちに教えてくれる「AI 活用のヒント」は極めてシンプルです。

- × **悪い活用法（先 AI）：** 課題の最初から AI を起動し、答えや文章を生成させる。脳は「コピペ」の認知処理しか行わず、思考力も知識も定着しない。
- ○ **正しい活用法（先思考・後 AI）：** まずは自分自身のアイデアや構想、独自の構成に基づき、自力でエッセイや小論文（初案）を書き上げる。その上で、AI を「優秀なパーソナリストアシスタント」として活用する。

具体的には、自分が書いた文章の**① 英文校正や表現のブラッシュアップ、② 論理構成の補強に向けた客観的フィードバック、③ 関連する周辺情報や背景知識の収集**を助ける役割として AI を配置するのです。

この順序と役割分担を守ってこそ、AI は脳を思考停止に陥れる「正解自販機」ではなく、脳を活性化させ生産性を劇的に引き上げる「最高の学習パートナー」となります。

3．結論：KidsBrown の「直読直解」こそが、AI を乗りこなす「先思考」のインフラ

この「先思考」のプロセスにおいて、まさに子供たちの脳の足腰となるのが、KidsBrown が誇る「ストーリーベースのカリキュラム」と「英語の語順通りの直読直解」です。

100%インタラクティブなストーリーの中で、絵本やアニメーションの文脈から「次に何が起きるか」「この言葉はどういう意味か」を自分の頭で推測し、**主語＋動詞の英語の語順のままダイレクトに風景化（思考）する習慣**。これこそが、脳をフル回転させる最高の「自力思考トレーニング」にほかなりません。

小学生のうちに KidsBrown でこの「自力で噛み砕く知の基礎体力」を育んでおけば、将来子供たちが AI に向き合った際も、AI に丸投げして思考を失うことなく、「まず自分の頭でアイデアを構築し（先思考）、AI をフィードバックや構成補強のアシスタントとして従える（後 AI）」という理想的な知的生産性を発揮できるようになります。

■ 編集部からのメッセージ

「AI があるから勉強しなくていい」のではなく、「自分の頭で考える力があるからこそ、AI をアシスタントとして 100%使いこなせる」時代が来ています。

AI がどれほど進化しようとも、最初に自分の頭で悩んで構想を練るという「脳の汗」をかくプロセスをスキップさせることはできません。私たちの教室は、子供たちに単なる知識を授ける場所ではなく、KidsBrown の豊かなストーリーを通じて「自分の頭で考える最高の楽しさと足腰」を提供する場所です。

「まず自分の頭で読み解き、構成する力」という一生モノの財産を、今週も子供たちに届けていきましょう。先生方の尊い実践を、今週も心より応援しております。

KidsBrown Japan **編集部** 公式サイト: https://kidsbrown.jp

💡 **オーナー様へのアドバイス（保護者対応・スクール便りでの活用法）：**「AI 時代の学び方」について保護者様にお伝えする際、今回の活用法は非常に実践的で納得感があります。「これからの時代、AI に最初から文章を書かせる子は思考力が低下してしまいます。本当の賢い使い方は『まず自分のアイデアで作文やエッセイを書き、その後に AI を校正やアドバイス役のアシスタントとして使う』ことです。KidsBrown では、幼少期からストーリーを通じて『自分の頭で文脈を推測し、英語の語順のまま考える力（先思考の土台）』を徹底的に育てているため、将来 AI を最も賢く従える子に育ちます」と、ぜひお話ししてみてください。お教室の指導方針に対する深い共感と信頼が得られます。